

教学 IR とは

教学 IR (Institutional Research) とは、大学において、教育に関する様々なデータを収集・分析し、大学の意思決定や教育改革を支援するための調査研究活動です。

神奈川歯科大学では、教学 IR 室を教育企画部内に設置し、自ら客観的な状況を分析することで、教育課程の体系化、学生支援、授業改善、FD・SD 活動の実質化などを推進しています。(神奈川歯科大学教育企画部教学 IR 室規程)

活動内容

【1】 教育・学修データの収集・分析・可視化

授業評価アンケート、自己成長度アンケート、卒業時アンケート等を用いて、教員へのフィードバック、学生の受講態度改善、カリキュラム改善、FD・SD 活動への助言等を行います。

【2】 学生生活に関する情報の収集・分析・可視化

学生生活アンケート等を用いて、学生生活の実態を把握や学生属性の分析等を実施し、教育環境やサポート体制の改善に役立てます。

【3】 教職協働による教育課程の改善支援

教員と職員が連携し、教育改善に向けた PDCA サイクルを構築し、IR データをもとに、授業の質向上、学生の学修支援、教育課程の再設計支援を行います。

【4】 学修成果の検証と教育効果の向上

学修行動と成績評価の分析による学修傾向を把握します。

成績分布(科目別・教員別・年度比較)と学修成果との関連性を分析し、教育方法の改善と学習支援の充実につなげます。

卒業生及び卒業生の雇用主へのアンケートにより、ステークホルダーから見た大学の評価を行い、大学改善へとつなげます。

【5】 FD・SD 活動の企画・運営補助

FD・SD 活動に関する講演企画・実施への助言を行います。

教育改善事例の紹介

2023 年度と 2024 年度の総合歯科学試験点数と CBT 結果の分布について分析した資料および学生アンケートの要望を基に、教育委員会で検討した結果、授業時間外の補講の拡大、A I アプリを活用した自己学修、学内合宿の実施等を 2025 年度に実施しました。

教学 IR 室からのメッセージ

「教育の質は、データと対話から生まれる」

教学 IR 室は、神奈川歯科大学の教育理念を支える縁の下のカ持ちとして、日々の授業支援から制度設計まで、幅広く活動しています。